

肉用牛

鹿屋市 時村 大志さん(37歳)
海上自衛官から、畜産経営を志す！

研修先 鹿屋市畜産課畜産振興係 (黒毛和牛生産 山中畜産・西之原畜産)
所在地及び連絡先 鹿屋市共栄町20番1号 電話：0994-31-1118

＜研修作物＞
肉用牛



＜新規就農を志した経緯・背景＞

- ・16年間海上自衛隊で勤務していたが、自己努力次第で経営を左右できる仕事に挑戦したいと考え畜産経営を目指すことを決意した。
- ・周りからは、経営を開始するタイミングが悪い(子牛価格の下落等)のもう少し様子を見てからが良いのではないかと助言されたが、熱意と経営努力で乗り切れると考えて今のタイミングで挑戦することを決めた。
- ・実家が畜産を営んでいるが、親元就農ではなく新規自営就農を目指す。

支援策の活用例

- ・鹿屋市畜産担い手定着促進事業新規就農者支援資金を活用し、研修中の生活費、資材等を購入。(月15万円×2年間 研修終了後プラス100万円(就農資金)を支給)

これまで苦労した点

- ・畜産の専門的知識が乏しかったため、給餌作業や分娩・体調管理等の知見の習得に時間がかかっていること。

研修して良かった点

- ・実家での飼養管理と違い、効率的な飼養管理手法について学べていること。(具体的には、毎回給餌量を計測することで、牛の体調を把握したり、産まれたばかりの子牛に対する初乳の給与方法の工夫等)
- ・複数の先進農家で研修を受けることで、より実践的な飼育管理や経営を学べていること。

就農に向けた今後の目標 (現在)

- 【研修期間】(令和5年8月～令和7年7月)
- ・市を通じて空牛舎を確保済。
- ・就農時4ha規模の農地について賃借の準備が整った。



(将来)
【就農後】(令和7年8月～)

- ・国・県等の事業を活用して、当初20頭規模の飼育から始めたい。
- ・その後、5年後を目標に30頭規模まで拡大する予定。
- ・青年等就農資金を活用して当面の運転資金を確保する予定。

就農を目指す方へのアドバイス

- ・行政(市役所等)、関係者へ繰り返し相談するとともに、必要な情報収集を早めに行うこと。
- ・目標に向けて、熱意とやる気を持って精一杯頑張ること。